セキュリティソフトウェア　Secure Manager 使用説明

USB Flash Disk セキュリティソフトウェア（以下「Secure Manager」）を使用するとフラッシュメモリにパスワードで保護されたセキュリティエリアを設定することができます。

対応環境

・Windows XP Home & Professional、Windows Vista、Windows 7
（32bit 版に限る。管理者権限でのログイン時に限る。）
・USB ポート標準搭載の機種

制限事項

・フラッシュメモリは FAT でご使用ください。（NTFS に再フォーマットされたフラッシュドライブは本ソフトウェアのサポート外となります）
・非管理者権限（制限ユーザー）でログイン中は、本ソフトウェアは動作しません。
・フラッシュドライブをパソコンから取り外す際はタスクトレイの「ハードウェアの取り外し」を行ってください。
・セキュリティソフトをご利用になる場合は'SecureManager(.exe)' ファイルは削除しないでください。
（セキュリティソフトをご利用にならない場合は、事前に'SecureManager(.exe)'および、本取扱説明書ファイルを削除されると、ドライブの記憶容量が増加します。削除後に必要となった場合、ソフトウェアおよび本説明書ファイルは、弊社 Web Page からダウンロードすることも可能です。）

免責事項

・本ソフトウェアの使用によるデータの喪失、破壊については弊社は一切の責任を負いません。
・本ソフトウェアの使用による二次的な損失（利益機会の損失や復旧等にかかる損失など）については責任を負いません。
・全ての対応環境での動作を保証するものではありません。
・ソフトウェアのバージョンアップなどにともない、説明書内の画面表示と実際の画面表示が異なる場合があります。

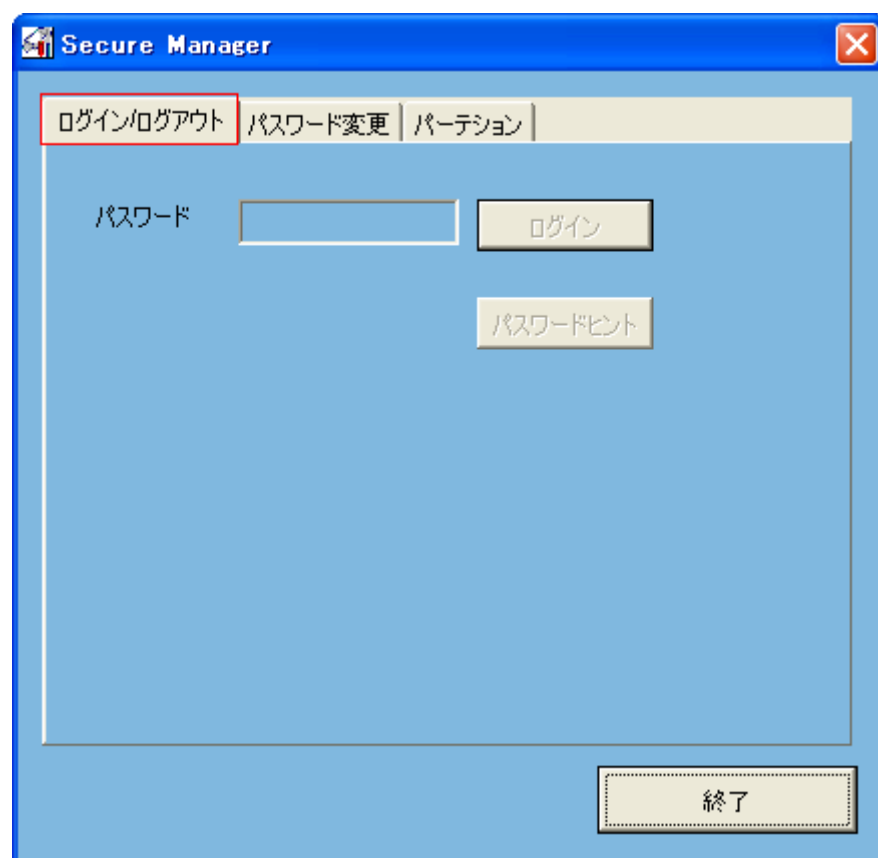
Secure Manager の使用

Secure Manager を使用しますとフラッシュメモリにパスワードで保護されたセキュリティエリアを設定することができます。フラッシュメモリのほぼ全体をセキュリティエリアに設定することも、一部容量をセキュリティエリアに設定することも可能です。

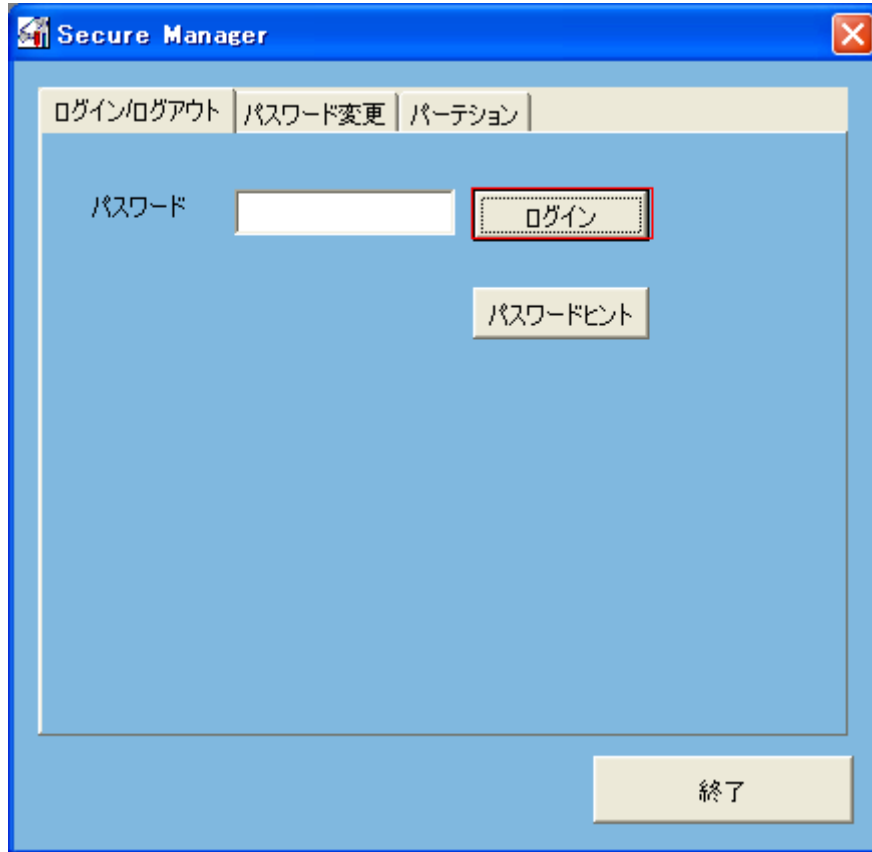
一部容量をセキュリティエリアに設定した場合は、残りの容量はパスワード認証無しに自由にデータの書込み、読出しが行える通常エリアとなります。
セキュリティエリアと通常エリアは切り替えて使用するため、同時に使用することはできません。

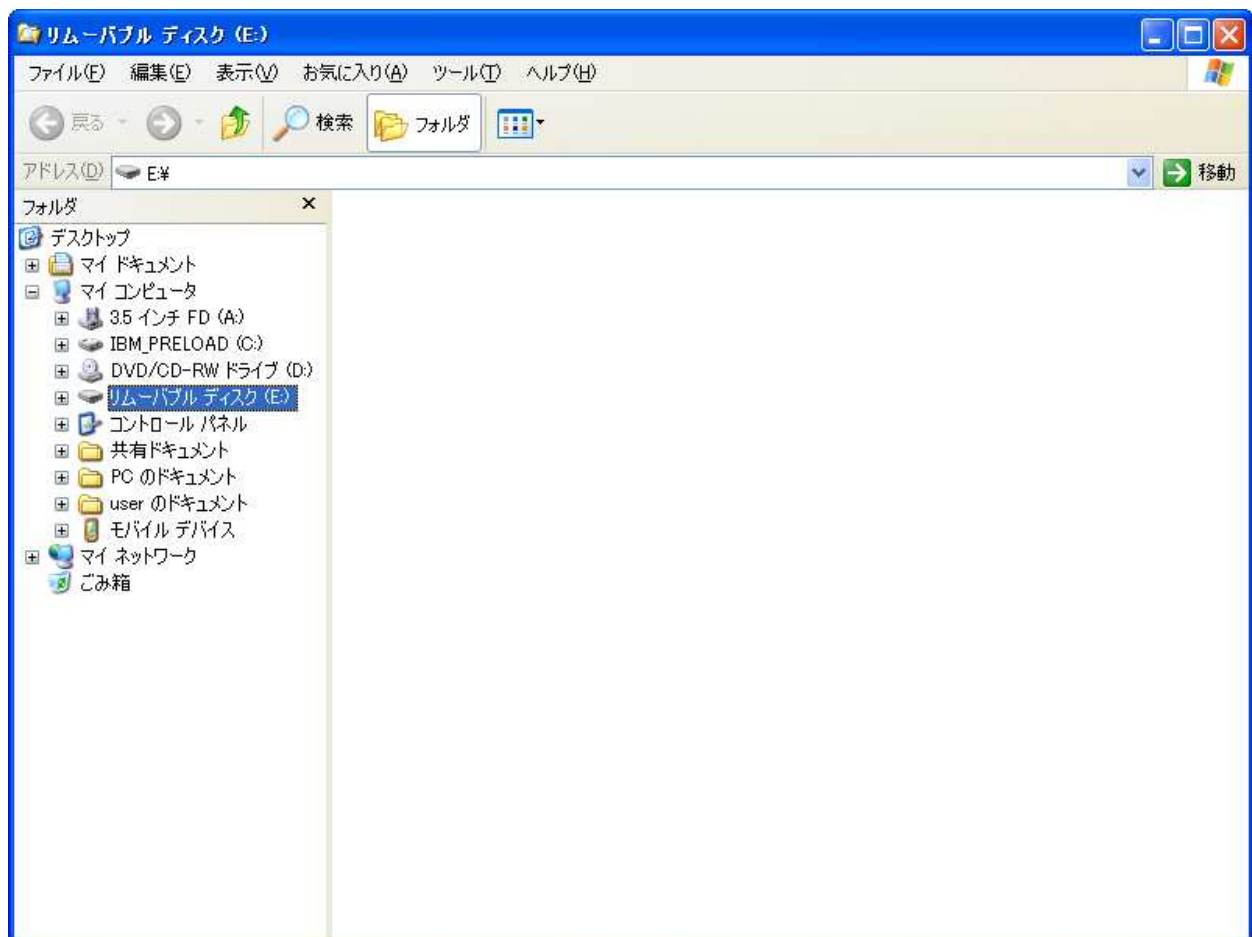
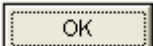
はじめに

フラッシュメモリをパソコンに接続し、「SecureManager(.exe)」を実行すると、以下に説明される「Secure Manager」画面が表示されます。(一部実際の画面と異なる場合があります。また、「SecureManager.exe」ファイルはコンピュータの設定により「SecureManager.exe」と表示される場合と「SecureManager」と表示される場合があります。本説明書ではこれらを合わせて「SecureManager(.exe)」と記載します。)

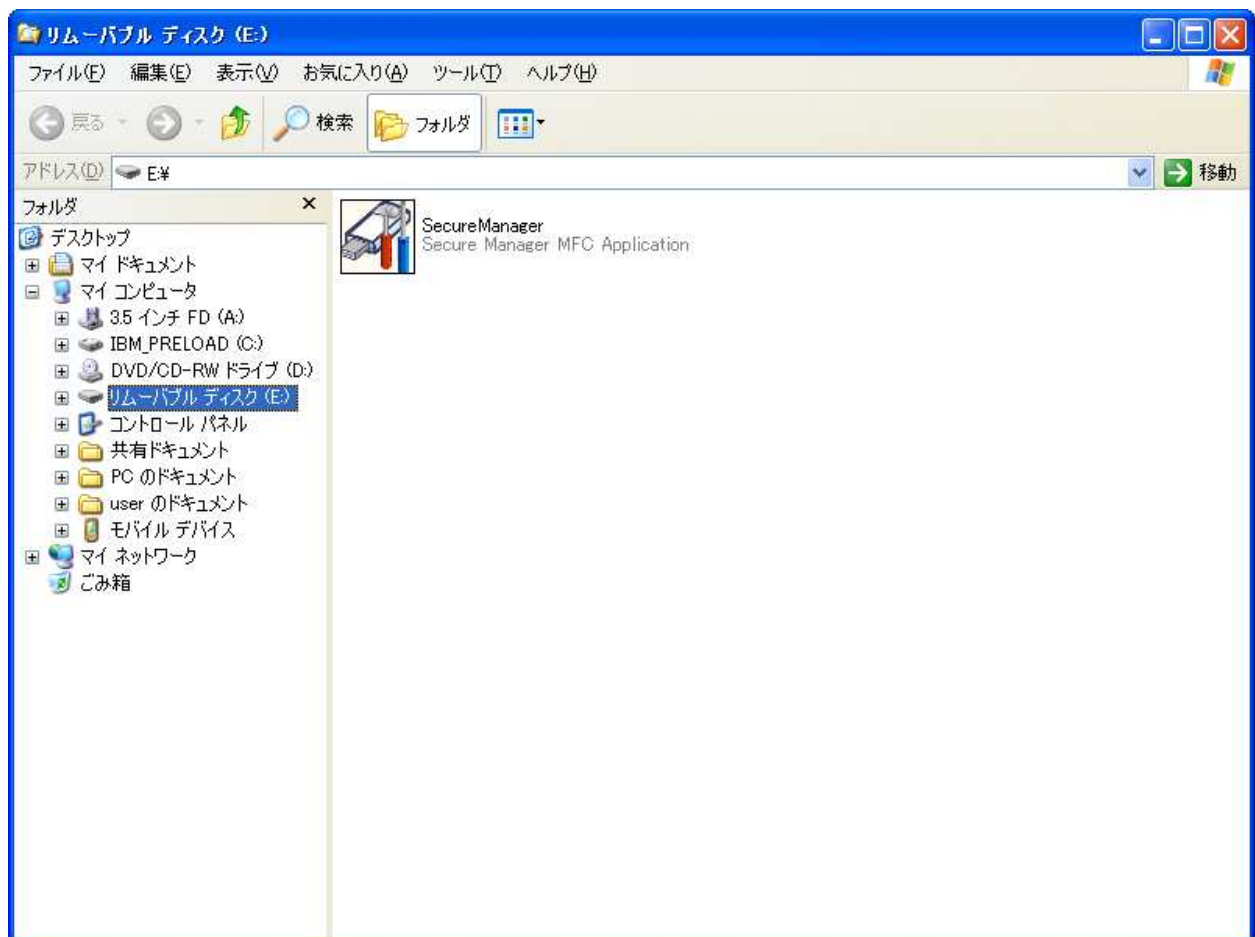
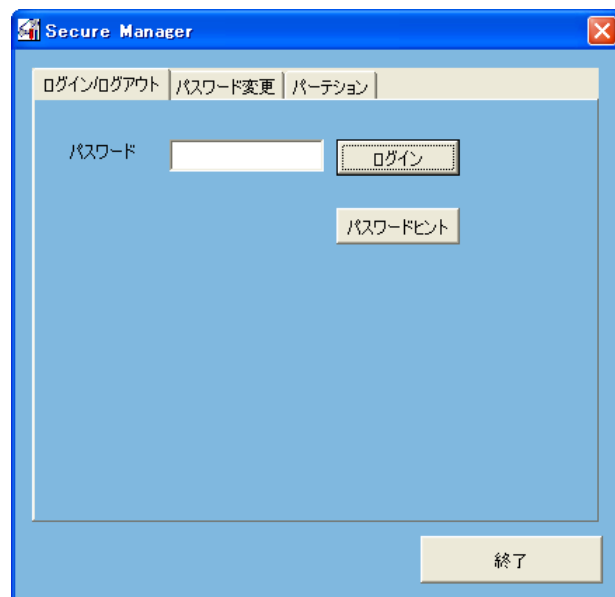
1.「ログイン/ログアウト」タブ

(1)セキュリティエリアの使用(本ソフトウェアでは「ログイン」と呼びます)のための画面です。セキュリティエリアの設定が完了すると、使用できるようになります。

（2） パーテション タブをクリックして、パスワード設定: 等の必要入力を行いセキュリティエリアの設定（本ソフトウェアでは「パーテション」と呼びます）を行います。（具体的な操作方法は **3.「パーテション」タブ** の項を参照してください。）

（3）パーテションが設定されると、「ログイン」ボタンが有効になります。

（4）ログインに成功すると、以下のメッセージが表示されます。

OK をクリックするとセキュリティエリアが「リムーバブルディスク」として、使用できるようになります。

誤ったパスワードが入力されると、下記メッセージが表示されセキュリティエリアは使用できません。

（5）「ログアウト」操作を行うと、下記メッセージが表示されます。

OK をクリックすると通常エリアが「リムーバブルディスク」として、使用できるようになります。

（6） パスワードヒント をクリックすると、パスワード設定時に入力したヒントを表示することができます。（標準ではパスワードヒントは隠されています）
パスワードヒントは無条件で表示されますので、容易にパスワードが類推されるようなヒントは設定しないでください。

通常の「ログイン/ログアウト」タブ　　「パスワードヒント」をクリックした場合

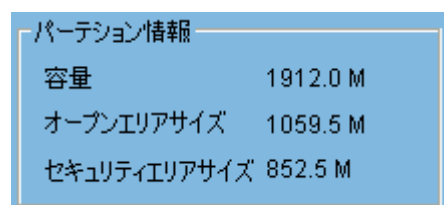
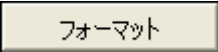
2.「パスワード変更」タブ

(1)「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード確認(確認のため「新しいパスワード」と同じ内容を再度入力)」、更に必要な場合「パスワードヒント」を入力し、[パスワード変更] をクリックします。

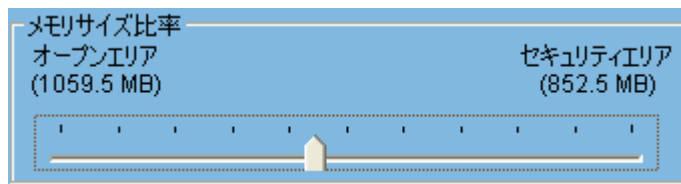
(2)下記メッセージが表示され、「新しいパスワード」が有効になります。

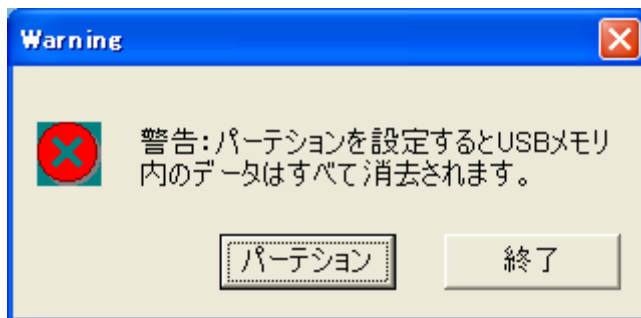
注:パスワードを失念しますと、セキュリティエリア内のファイルを使用できなくなります。パスワード設定を解除してファイルを取り出す方法はありませんので、パスワードの管理には十分ご留意ください。(セキュリティエリア内のファイル/データをすべて破棄し、メモリを初期化してパスワード設定を解除することは可能です。)

3.「パーテション」タブ

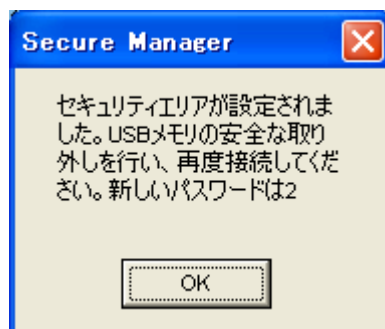
(1)「パーテション情報」には、全メモリの容量、通常エリア(オープンエリア)およびセキュリティエリアのサイズが一括表示されます。メモリサイズ比率の設定つまみに連動して表示されます。

(2)「パスワード設定」、「ヒント」は、新規にセキュリティエリアを設定する際に設定し、以後ログイン時に使用します。

この設定は、 のチェックが外されている場合のみ可能です。

(3)「メモリ初期化(オープンエリアのみ)」を選択すると、メモリ全体を初期化し全容量を通常エリアに再設定します。(セキュリティエリアは解除されます)

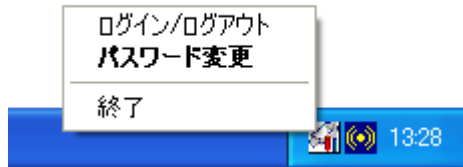
(4)通常エリアとセキュリティエリアの割合は、メモリサイズ比率設定つまみを移動させて任意に設定することができます。

比率設定は「パーテション情報」で、都度確認することができます。

(5)「メモリサイズ比率」と「パスワード」設定後、フォーマット をクリックすると、下記警告メッセージが表示されます。

メモリ内のすべてのファイル/データを破棄し、パーテション設定を行う場合は、「パーテション」ボタンをクリックします。

(6)「フォーマット情報」に進行状況が表示されます。

(7)パーテション設定が完了すると、以下のメッセージが表示されます。

注:Windows Me では、「パーテション」タブ内に「Bootable Disk」、「USB-ZIP」が表示されますが、この機能はサポート対象外です。これら項目にチェックを入れないでください。

4. タスクトレイ

タスクトレイ上の Secure Manager アイコンをクリックし、「ログイン/ログアウト」、「パスワード変更」を選択すると、それぞれのタブ画面が起動します。「終了」を選択するとログインを終了し、タスクトレイ表示も終了します。

注:

1. Secure Manager アイコンは、USB メモリがパソコンから取り外されるか、アイコンをクリックして「終了」を選択すると、表示を終了します。

2. 本ソフトウェアは、対応する USB メモリ専用です。